

第1回 日本スポーツパフォーマンス学会大会

日時 平成27年7月29日(水) SPORTEC2015 第2日 13:00~16:30
場所 東京ビッグサイト 東5・6ホール B会場(100名) SPORTEC 展示会場内
(東京都江東区有明3-11-1)

参加費 学会員：無料(※会員登録は、当日会場で行います。)

↳ (学会HP(<http://sports-performance.jp/>) からどなたでも新規会員登録可能 年会費：一般 ¥3,000 学生 ¥1,000)

一般：有料(事前 ¥4,000 当日 ¥5,000)



SPORTEC2015 への入場料 ¥2,000 が無料になります。
来場事前登録はこちら

→ <http://www.sports-st.com/regist/index.php>

<https://www.sports-st.com/>

13:00~【開 会】総合司会 前田 明(鹿屋体育大学教授 SPORTEC 実行委員)

13:05~【学会長講演】

日本スポーツパフォーマンス学会の役割

福永哲夫(日本スポーツパフォーマンス学会会長 鹿屋体育大学学長 SPORTEC 実行委員長)

14:00~15:30【ラウンドテーブルセッション】

東京オリンピック・パラリンピックに向け、指導者養成・コーチングイノベーションにおける実践的研究の意義・活用を問う

進行・座長 金高宏文(鹿屋体育大学教授 スポーツパフォーマンス研究副編集委員長)

演者 岡崎助一(日本体育協会専務理事 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事)

青山清英(日本大学教授 日本コーチング学会理事長)

高橋仁大(鹿屋体育大学准教授 スポーツパフォーマンス研究編集委員長)

<テーマ設定の趣旨> スポーツパフォーマンス研究等に代表される実践的研究が、大学実技系教員の学位取得に寄与するばかりだけでなく、スポーツ指導者養成やその指導実践に大きく寄与できるよう、仕組み作りや環境整備について議論をする。目指す結論としては、医学会で行われているような医師の「症例報告」と同じように、スポーツの指導者も自分自身の指導事例等を「事例研究」や「事例報告」として発表・報告する仕組みを構築する。

15:45~16:25【一般発表】

座長 高橋仁大(鹿屋体育大学)

スポーツパフォーマンス研究に関するポスター発表と自由討論を行います。

学会会員であれば、A0版のポスター(縦)1枚にて発表することができます。

発表希望の方は、以下を参照され、学会事務局にお申込み下さい。

<一般発表申し込み> 発表無料 締め切り：7月24日(金)

申し込み先：spjimu@nifs-k.ac.jp 以下の内容をお送り下さい。

① 演者(所属) 共同演者(所属) ※演者は全て学会会員登録を済ませた者として。

② 演者連絡先 住所 電話番号 e-mail アドレス

③ 演題名

16:30【閉 会】

お問い合わせ：日本スポーツパフォーマンス学会事務局(三浦) 0994(46)4905, spjimu@nifs-k.ac.jp